

# 議会だより

# 迎

# 春



- ◆新年のご挨拶 … 2ページ
- ◆トピックス …… 3ページ
- ◆一般質問 …… 4～9ページ
- ◆各委員会報告 … 9～14ページ
- ◆討論 …… 15ページ
- ◆編集後記 …… 16ページ

### 新年のごあいさつ



議長  
的場 輝夫

新たな年を迎えるにあたり、議会を代表しご挨拶申し上げます。  
自然が人間に与える警告を、「3月11日・東日本大震災」は、全世界に、人類に、私達一人ひとりに、現実の姿として発したのです。人間の叡智で、完全に自然を御するなど不可能であり、真剣に共存していく方法を見出しなさいと、教えてくれているのであり、私達人間は、自然に謙虚であることを忘れてはならないと思います。

地震・津波による福島第1原発の事故は、東電・歴代政府の安全意識の希薄さや、慢心に起因していたことは明白です。

真の危機意識からなる徹底した安全対策が、普段の検証を通じて強化されてゆく体制の確立にむけ、関係する全ての者が最大限の努力をしていくべきと考えています。

います。  
将来の高浜町にとって、今成しておくべき事業の具体化に向け新年度より町民の皆様を示され、予算化されていく事となります。

大震災を受けて「町民の安全・安心」をより強めるコンパクトシティ推進事業・雨水対策施設整備・エコ園芸の振興・福祉介護施策の充実・雇用対策・観光振興・少子化対策・等々  
皆さんの期待に添う各事業となること  
が最優先とされるよう議会は不断の努力を続けていくことをお誓いし、新年の挨拶と致します。



### 新年のご挨拶



副議長  
栗野 明雄

明けましておめでとうございます。  
昨年は、大きな節目を迎えた年でした。又、「東日本大震災」以来、時代が大きく動いている実感を持ち、昨日まで当然と思っていたものが当然でなく、これまでの生活に感謝の思いを感じます。

地方主権が叫ばれる今日、高浜町も世界情勢、国家の経済情勢など、動いている情勢をよく把握する必要性も生じてきていると思います。

そのような中、高浜町では、コンパクトシティ構想など、今後10年の総合計画が策定され、これから実施に向かおうとしています。町民の幸福はどこにあるのかを考え、一つ一つを大切に判断していきたいと思っております。

活発な議会になり、皆様の負託に応える努力をすることをお誓いし、新年の挨拶と致します。

### LED浜灯 ~太陽光で充電し、暗くなると灯ります~

事代区の海岸道路波返しに、太陽光を利用したLED浜灯が設置されます。



- ゆらゆら灯る浜灯に誘われ夜のそぞろ歩きに
- 太陽光発電で灯るLED灯は環境にやさしい
- 港に船を繋ぐ係船柱(ボラード)をモチーフにして港町の雰囲気を演出

事業費1,941万6千円  
(県費:1,000万円 一般財源:941万6千円)



### TOPICS

#### 事代海岸道路にLED浜灯 (コンパクトシティ推進事業)

### TOPICS

#### オンデマンド交通 実証実験開始

無料で  
自宅まで  
送迎!!

完全予約制

12月5日より東京大学が開発したオンデマンド交通システム(コンビニクル)の実証実験が開始されました。  
利用登録を行っていただき、電話やインターネット、専用端末、スマートフォンから予約ができます。



高浜病院に設置された予約端末

スマートフォンの予約アプリ



町議会議員 栗野 明雄



### 野瀬町長の出馬の意志は

答弁 皆さんのご理解を頂き出馬したい  
栗野 明雄 議員

【栗野】 野瀬町長の二期目の任期は来年5月までである。白宣言を行い、又、コンパクトシティ構想を打ち出している。東日本大震災もあり大きな節を迎えていると感じる。町長は二期目の出馬の意志はあるのか。

【町長】 光陰矢の逝く感じがする。医療問題、白宣言、コンパクトシティ構想、新たな総合計画の策定に取り組んできた。そして東電の福高原発の事故は、原子力立地の高浜町の将来に大きな影響を与えた。剣ヶ峰に立たされている原子力行政、新たな総合計画の実施など、今後も是非担わせて頂きたい。残りの任期はしっかりと努めあげたい。

### ◆中寄海岸に遊歩道をつくれ

【栗野】 東三松の海岸道路と、立石の海

岸道路をつなげば、ウォーキング道路が和田から脇坂までつながることになる。国道横断のリスクも減り利用範囲が広がる。又、国道の海側であり国道保全の役割も果たす。  
【建設整備課長】 「近畿自然歩道」の一区間として、整備の必要性を県に要望してきた。利便性確保、観光海浜の維持管理の面から必要と認識、実施の検討を進める。

### ◆高浜町の資産管理状況は

【栗野】

世界経済が不穏な動きをしている。現金や国債等、安全な方法で持つことを望む。  
【出納室長】

基金条例を遵守し管理している。ペイオフは、債務と債権が相殺されるので、それをにらみ流動性の観点から決済用預金、可能な限り国債、定期預金で運用している。



### 東日本大震災のガレキを受入れてはどうか

答弁 住民議会の合意が必須条件で可能な範囲で受入れを行いたい  
山本 富夫 議員

【山本】 東日本大震災による復興は、ガレキの処理などの目処がたつておらず深刻な状況下にある。東電福島第一原発の事故で放射能に対するアレルギーが復興の大きな足かせとなっている。全国の自治体は放射能に汚染されていないガレキまで受入れに難を示している。「頑張ろう日本」のスローガンは何だったのか。この国の将来のために高浜町独自でもガレキを受け入れるべきでないか。

な範囲で受入れを行いたい。

【山本】

町道事代坂田線の湯谷踏切は歩道スペースがなく歩行者が車等と危険な目に遭うなど、町民から危険性について指摘を受けている。今回の、本線改良を機に歩道拡幅についてJR西日本と協議してはどうか。また、文化会館までの歩道も老朽化しており改良すべきと考えるが如何か。

【副町長】

「避難道の確保」の視点から踏切は狭くて危険であると認識している。

本年度策定中の「都市計画マスタープラン」において、「災害時に円滑な避難や輸送ができる道路網の整備、地域の実情に応じた整備・充実を図ります」という方針を定め、文化会館までの歩道も含め、今後の道路・歩道整備について、人に優しい安全で快適な道づくりを目指して取り組む。



### 新たなオンデマンド交通とは

答弁 実証実験、無料で自宅まで送迎  
磯部 武史 議員

【磯部】 東京大学が開発した、コンビニクルというオンデマンド交通の実証実験が始まった。利用者登録が必要、完全予約制というところであるが、町民への周知、特に特定路線に慣れた利用者等への説明はできているのか。

【まちづくり課長】

11月初旬から町内4地区で2回ずつ説明会を開催した。また、希望のあった複数の集落で個別出張説明会を実施してきた。説明会を希望される集落やグループがあればご相談頂きたい。

利用者のニーズに応じ、ドアtoドアで運行する、高齢者にやさしい乗り合い交通システムである。実証実験中は、無料で運行する。

### ◆城山の課題について

【磯部】

今年、城山で自殺された方が4名あった。地元住民は憂慮して

いる。遊歩道や樹木の手入れ、夜間照明の運用に改善点はないか。夏期に公園内では禁止されている、キャンプやバーベキューを行う者が後を絶たない。監視体制の強化が必要ではないか。

【まちづくり課長】

手入れをしていない樹木が多く、日が当たりにくい遊歩道など、うっそうとした暗いイメージを解消するため、れいなん森林組合「木の先生・樹木医」を中心に植生調査を行っている。

調査結果を基に、今まで以上に美しく気持ちの安らぐ公園を維持するため、必要最小限の伐採や枝打ちを実施していきたい。

夏期シーズンのマナーについては、今年度管理警備員を増員したが、まだまだ健全な利用マナーとは程遠く、警備員の増員が必要と思われる、継続して利用ルールの啓発と注意喚起を実施していく。



### 「E」農業で今後の農業は

答弁 技術を身につけ地場産業の活性化  
井ノ元 康夫 議員

【井ノ元】

平成24年度より、道の駅西側にヒートポンプを使用したビニールハウスを建設して、ミディアムトマトを生産する計画がある。今後町内で生産安定を目的にビニールハウス建設を希望される方にはどう対応するのか。

【町長】

鳥獣害被害や農業就業者の高齢化により後継者が確保できないなど耕作放棄地が増加している。新しい農業スタイルで担い手や後継者の育成を行い、エコ農業に興味のある、個人・団体等のために、栽培技術、栽培に関するノウハウや、経営管理能力を身につけて頂きたい。

個人・団体を対象に建設費に掛かる一部を県や町が補助する予定で、農業者の雇用の拡大と地場産業の活性化を図っていききたい。

【井ノ元】

内浦地区の廃校になった学校の

利用について

【副町長】

地元住民との意見交換から、サロン活動の使用申請がある。災害時の避難場所としての機能を維持しながら、施設の改修も視野に入れ有効活用を図っていく。

【井ノ元】

上瀬漁港（日引分港）の破損した浮防波堤の今後の対策について

【まちづくり課長】

波浪条件の変化により、再検討の結果、建設当時より違う方向から15倍の波を受けたことにより破損に至った。今後は地元漁業者から、漁港内静穏度を高める為、防波効果が高いコンクリートブロック直立堤による改修が求められている。

町の単独事業で取り組むことから、来年度以降、財源の手当について調整を行い調査、設計、改修工事で回復を図る。



### 防災避難道路について

答弁 事業計画は今後の課題

廣瀬 とし子議員

【廣瀬】

防災避難場所を設定するにあたり、JRの線路より南側、高い所に避難するのが必然。町の防災避難通路を高浜駅前の広場からJRの線路を跨ぐ跨線橋で避難通路を作る計画はあるか問う。

【建設整備課長】

都市計画マスタープランにおいて災害時に円滑な避難や輸送が出来る道路網整備を図る。プランの再検討を含め、今後の道路や歩道整備について、人に優しい安全で快適な道作りを目指して取り組んでいく考えである。

◆遊歩道について

【廣瀬】

若宮海岸の遊歩道を立石から東三松まで設置する考えはないか問う。高浜町の景観はもとより散歩道としても必要では。

【建設整備課長】

町が整備するには海岸護岸として整備や、国道の歩道整備として

の実施は困難な状況である。

海岸波浪に対応するための護岸構造も必要となり事業費も増大する。各種補助事業での実施を検討する。

◆老人介護施設について

【廣瀬】

高齢化が進む中での特別老人介護施設も必要であるが、老老介護の家族が増大し、経費も増え、介護施設に入る余裕がない人が増えている。現状を踏まえ町として良い施策の考えはないか。

【福祉課長】

平成24年に特別養護老人ホーム「けいあいの里」と「楊梅苑」がそれぞれ30床の増床となり、施設待ちの状態がある程度緩和される。入所するにも費用が負担できない世帯もあり、在宅でも費用はかかることは認識している。多様な福祉サービスを有効に組み合わせ、介護者の負担を軽減する。

### 障がい者福祉行政の評価は

答弁 サービス利用は増加したが相談窓口と就労環境が課題

小幡 憲仁議員



【小幡】

①障害者基本計画・福祉計画に基づいてこの6年間の障がい福祉行政の評価と課題は。

②次期障害者基本計画・福祉計画の策定予定は。

【福祉課長】

①障がい者福祉サービスについて生活介護や就労支援が増加した。計画期間中の新規事業として日中一時支援、移動支援、障がい者カフェなどを始めた。今後の課題は総合相談窓口の充実と就労環境づくりである。また、町内に障がい者の授産施設や一時預かりの施設も必要と考えている。  
②国の障がい者福祉の制度改革の動向を見て対応したい。

◆保育事業の充実について

【小幡】

次世代育成支援行動計画で挙げた①延長保育、②休日保育、③トワイライトステイについて、進捗状況と今後の実施見込を問う。

【保健課長】

①延長保育は来年度から高浜保育所で実施する。

②土曜日保育の利用はあるが、日曜日保育のニーズは低い。実施に当たっては検討が必要。

③敦賀の施設で委託実施しているが利用実績がない。ニーズは高まってるので小浜で実施できないか検討する。

◆特別養護老人ホームについて

【小幡】

特別養護老人ホーム「高浜けいあいの里」と「楊梅苑」の増床計画(各30床)に対し補助金1、970万円を支出したが、各施設の工事の進捗と入所開始時期を問う。また、工事竣工後に高浜町の入所待ちが解消されるのか。

【福祉課長】

両施設とも24年4月の入所開始に向けて工事中である。高浜町の待機者を優先入所させるよう申し入れしている。



### 原稼働停止による地元経済への影響と再稼働の道筋について

答弁 再稼働の問題が与える町経済への影響は計り知れない

大塚 ひとみ議員

【大塚】

原稼働停止は社会全体に大きな影響が出ているが、町内の民宿、商店、飲食店などの深刻な経済的ダメージの実態をどのように把握しているか。また、町長の描く再稼働への道筋、工程表について。

【町長】

地元経済への影響の実態把握について、商工会が11月に実施したアンケートを掌握しており、売上が減少した企業が全体で81%にのぼる。また、温排水を利用した養殖業も壊滅的な打撃を受ける。再稼働の問題が与える町経済への影響は計り知れないものがあると認識しており、町行政として経済対策の必要性も感じている。再稼働については、国がストレステストの評価結果を迅速に出すことが大切であり、新たな安全基準と災害制圧道路の整備についても早期の対応を要請している。今後も国や関係機関への働きかけを続けて行く。

◆英語力向上について

【大塚】

国際標準語とも言うべき英会話のコミュニケーション力が必要不可欠な時代となっている。今年度町内の小・中学生の英検の受験者は何名か。また、ALTの活動の現状と効果についてどうか。11月25日に県教委が立ち上げた「県英語力向上推進会議」との今後の関わりについて。

【教育長】

英検受験は、年3回のうち2回終了時点で、中学生354名中、96名が受験した。合格者はこれまでのところ55名。(22年度合格者は延べ130名)現在のALTは高中で週3日、1〜3年生全学級の授業に対応し、内浦小中学校は隔週二日で小中学の授業に対応。高浜、和田、青郷の各小学校は五・六年生を対象に講師を派遣している。派遣効果についてはリスニング力の向上に大変役立っている。生きた英語に触れることが重要である。「県英語力向上推進会議」との関わりについては、今後方向性が協議されるので、その結果を待って対応していきたい。

### 「閃き座談会」での課題は

答弁 効果の高い広報公聴活動に務める

上尾 徳郎議員



【上尾】

「座談会」でも意見が多くあったが、現場職員の不祥事への対応と、人事管理を問う。

【副町長】

交通違反に係る様々事例を勘案し、法令を準用した懲戒審査委員会で処分を決定した。人事管理として公務の業務指導と「プロ意識の醸成」を課題として考えている。

【上尾】

定検作業を終えた原発が定検継続扱いとの事だが、長期停止により、再稼働時には不安もあるが対応はされるか。

【町長】

再稼働では、ストレステストも含め保安院の厳しい検査が入ると思うが、町としても事業者に最終点検を含め申し入れしたい。

【上尾】

コンパクトシティ構想の事業策定の進捗と推進体制を問う。

①全体構想の推進方針。  
②城山・漁港整備事業の進捗状況。  
③事業のプロポーザル実施計画は。  
④各事業推進の組織体制は。

【町長・副町長】

①庁舎・公民館、周辺道路整備、雨水対策、城山・漁港整備、など9事業を財源計画等を充分検討し、優先的に取り組む。  
②城山エリアは一体的整備が必要な中で、漁港施設の集約等を図り移転も含めて国・県との協議を踏まえ、地元住民や関係事業者との調整協議を進めている。  
③実施に向けて住民とのワークショップ等を行い、意見など取り入れた基本構想(計画)に基づく要項により設計や運営の提案を広く募集し、各検討委員会を設置して住民意見を反映する。  
④具体的事業展開の段階では、関係担当課が責任部署となり、総合責任部署としてコンパクトシティ推進室が総括する。



### 町民の「わが町構想」について

答弁 特に考えていない

勝本 繁昭議員

【勝本】 「わが町構想委員会」の設置等設ける考えはないか。

【町長】 「わが町構想委員会」の設置については、今のところ特に考えはない。

町民の皆さんが自らアイデアを出し、行動していく地域活動に対しては、今後も積極的に支援、協力していきたいと考えている。

#### ◆町独自の若者支援制度は

答弁 計画を策定

【勝本】

町独自の若者支援制度を設けなければ町の若返りは実現できない。

#### 【建設整備課長】

高浜町総合計画・都市計画やコンパクトシティ構想事業等の各個別の計画を策定、運用し効果的かつバランスの取れた魅力あるまちづくりをしたい。

#### ◆大規模地震による下水道機能停止対策は

答弁 現状の機材で対応

【勝本】

被災時においても下水道が担うべき機能を維持していく必要がある。各地域のマンホールポンプの非常用電源設備の対応は。

#### 【上下水道課長】

マンホールポンプに非常用電源設備は常設されていないが、可搬式発電機2台と、バキューム車1台を所有しており、それにより対応する。

#### ◆国民宿舎城山荘の建物の内装改修は

答弁 必要な修繕はする

【勝本】

城山エリアの実施着工に至るまでの内装維持は。

#### 【まちづくり課長】

営業を継続する以上は、必要な修繕は施していく。



### 障がい者の防災対策は

答弁 災害時要支援者台帳の作成

西出 秀雄議員

#### 【西出】

大地震など大きな災害が起こった際、障がい者が独力で被災状況を把握したり、避難場所への移動は難しい。

安否確認体制の整備や支援体制の強化、整備が重要で障がい者の防災マニュアルやガイドラインを作る考えはないか。

#### 【福祉課長】

障がい者（児）だけでなく要介護者、独居の高齢者等の要支援者を把握し安全に迅速な避難が必要。災害時要支援者台帳を本年度中に作成、行政消防等の防災機関だけでなく区長、民生委員等に初期の対応をお願いできるように検討。地域での見守り体制を進め、個々の避難誘導プランも検討。

#### ◆機能別消防団員の導入は

【西出】

地域の消防団員が減少し続ける中、総務省消防庁が平成17年1月

に機能別消防団員の導入を市町村に促した。

消火活動の後方支援や啓発活動等に報酬、手当が支払われている。団員（一般）、非常勤（団員）の導入と報酬の増額は。

#### 【総務課長】

若狭消防組合条例で定める定数155名が確保され、団員一人ひとりが郷土愛精神の基、防災活動に大いに貢献している。

消防団をサポートするボランティア組織が各地区に広がるよう、消防組合と連携し、協力をお願いし、防災に対する意識高揚を図り、防火訓練や啓発活動に力を入れ、防災体制を構築していく。

報酬の増額は厳しい。安全管理面や福利厚生面を含めて検討する。

### 原子力対策特別委員会

委員長 清常 光洋

◇12月16日（金）

#### 審議事項

- ① 福井県原子力環境安全管理協議会高浜町版設立の考えはないか
- ② 原発防災地域PAZ・UPZについて
- ③ 原子炉「コーストダウン」運転について
- ④ ストレステストの現状について
- ⑤ 付託案件の審査・陳情第4号「原発の永久停止」の決議要請

#### 審議内容の要旨

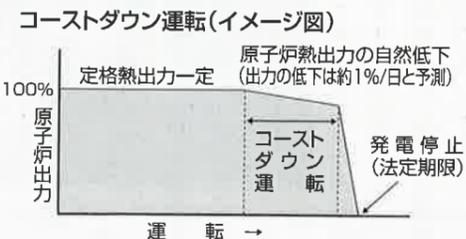
- ① 副町長より考えはないと答弁。
- ② 防災地域からの避難指示はとの質疑に、防災計画見直し中と答弁。

原発周辺の県道を避難道路として国道並にはとの質疑に現在取組んでいると答弁。

※PAZ：原発から半径5km圏内で急進展する事故で直ちに避難する区域

※UPZ：原発から半径30km圏内で事故の進展に応じて避難する区域

③④について関西電力(株)高浜発電所より説明を受ける。



- ◎ 「コーストダウン」運転は法定期限内において、原子炉熱出力の自然低下をさせていく通常の運転方法である。
- ◎ ストレステストは、高浜1号機は近い内に評価報告書が完了。大飯3・4号機の評価報告書は原子力安全・保安院へ提出済。

⑤ 「原発の永久停止」決議要請について。

◎ 福島原発の事故の知見を踏まえ要請書採択に賛成の意見と、9月議会において原発堅持の意見書を議決しており、現下のエネルギー政策、経済活動等も勘案し採択不賛成の意見があり、慎重審議の結果、

【賛成少数で不採択】



### 高浜病院を公的存続に

答弁 無理やりRFEOから譲渡は受けない

渡邊 孝議員

#### 【渡邊】

去る6月、社会保険病院などを売却する目的をもった独立行政法人「年金・健康保険福祉施設整理機構」(RFEO)を、病院を運営する組織「地域医療機能推進機構」に変更する法案が成立した。野瀬町長の方針は、高浜病院を高浜町が買収し、適当な方法に委託することになっているが、これまでどおり「公的(国有)民営」形態をめざすことが最良と考える。町長の見解を問う。

#### 【町長】

昨年、町は高浜病院の「医療環境と病院機能等調査」を行った。その結果、病院としての経営管理やマネージメント、病床のあり方に課題があることがわかった。それらを改革しなければ今後も医師不足の状況は続くという調査結果である。病院側が痛みを伴うような改革を行うなら、町として最大限の協力はする。無理やりRFEOからの譲渡をうけるつもりはない。

#### 【渡邊】

原発に代わる再生可能エネルギー推進のため、大島半島への風力発電設備の建設を提案する。おおい町にも呼びかけ調査、検討する考えはないか。

#### 【町長】

風力発電は、周辺環境、景観への影響、風車による騒音や低周波被害鳥の衝突、風力などの問題がある。いまのところ同施設の建設調査等を行う考えはない。

#### 【渡邊】

青戸入江でのアカガイの放流事業の現状はどうか。陸上養殖など、研究、開発する考えはないか。ナマコについてもどうか。

#### 【まちづくり課長】

おおむね良好に推移している。陸上養殖の研究、開発については「若狭和田漁村青年グループ」の研究活動もあり、今後、県ならびに漁業者とともに検討していく。ナマコの種苗放流もすすめられており、漁獲量増加に取り組まれている。

総務産業常任委員会

委員長 磯部 武史

◇12月13日(火)

○当委員会に付託された4議案を可決、陳情案件を継続審査とした。

議案第71号

■平成23年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

雨水対策施設整備事業の、総事業費と国からの補助はいくらか。

詳細設計はこれからであるが、概略で工事費12億円程度。

事業の予定は24年度に用地の測量・土質調査・概略設計。25年度に用地買収と詳細設計。26年度から2か年にわたり工事に入る予定。なお、詳細設計は国の補助が充当できる。工事費の2分の1は国交省の国庫補助を充当する。

また、郷土資料館駐車場付近の調整池は、28年度で実施予定。

用地買収面積はどれくらいか。

約3,000㎡になる。面積と

厚生文教常任委員会

委員長 横田 則孝

◇12月14日(水)

審査事項

付託案件の審査

議案第68号

■平成23年度 高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

特定健診の受診状況や健診結果の活用についての質問があり、本町の受診率は県内においては高い方であり、今後は、検診結果に基づき予防対策などに力を入れていきたいとの答弁があった。

【全員賛成で可決】

議案第69号

■平成23年度 高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

和田診療所における医薬品の在庫状況についての質問があり、予防接種ワクチンなどは予約を聞いて注文をしているため極力在庫をもたないようしているとの答弁があった。

【全員賛成で可決】

金額が大きいため土地鑑定評価をする。

以前は畑区の方へサイホン式で流す聞いていたが、汐入川へ排水することになったのか。

用地の用途がたち、事業的に早く動けるので計画を振り替えた。

工事完了後、調整池の上部の仕上がりはどのようになるのか。

土を40〜50cmかぶせる。用地の利用については白紙であり、地元説明し今後検討する。

調整池の容量の算出根拠は。

計画の雨量は時間当たり46mmである。これは7年確率で、調整池の設計は5年確率から10年確率の間で設計する。

【全員賛成で可決】

議案第73号

■高浜町暴力団排除条例の制定

高浜町内にそれらしき団体があるのか。

警察に聞いても町内には暴力団事務所はない。福井県内には福井市・あわら市・敦賀市にある。舞

議案第70号

■平成23年度 高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

質疑・討論は特になし。

【全員賛成で可決】

議案第74号

■高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

質疑・討論は特になし。

【全員賛成で可決】

議案第75号

■高浜町スポーツ振興審議会に関する条例の一部を改正する条例

スポーツ振興審議会の役割や活動について質問があり、各種競技団体の代表者でメンバーが構成され、スポーツ全般に亘って審議をしているとの答弁があった。

【全員賛成で可決】

議案第76号

■高浜町営体育施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例

施設の夜間照明電気料と使用料との整合性について質問があり、一度、現状を把握し施設ごとの見極めをしたいとの答弁があった。

【全員賛成で可決】

鶴市は、現在どのようなになっているのか詳細はつかんでいない。

高浜町内の方で、暴力団員、暴力団員等はいらぬのか。

条文の暴力団員等というのは、暴力団を離脱して5年以内の方という定義で、暴力団員・暴力団員等は、以前はおられたかもしれないが今はいないと警察から聞いている。

暴力団が夏期旅館を借り上げた時などの対処はどうするのか。

警察に連絡してほしい。身分照会を行い県条例、第5条第3項の中で、警察当局が取締り排除していく。

【全員賛成で可決】

議案第77号

■町営住宅の滞納者及び入居実体のない入居者における法的処置対象者の選定

最終的には、裁判所への申し立てになるが、代償の可能性はある方々か。

3人に関しては、和解や調停に応じてもらえる状況に至らないと予測する。最終的には強制執行に

なると思っている。

現在ほどの程度の滞納者がいるのか。

滞納金額が30万円以上の方が26件である。

このような事例を起こさないために、保証人に早い時期に状況を伝えることが必要ではないか。

滞納額が10万円を用途に本人や保証人に催促に行く。

【全員賛成で可決】

陳情第30号

■「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書採択を求める陳情

●テロ問題や尖閣諸島の問題など、国が財産・生命を守るために法律を制定する時期に来ている。

●地方から声を上げ、早期に意見書を提出すべき。

●緊急事態法の、検討を急ぐ必要性はあるが、意見書の内容は法律を制定していただきたいとなっている。

時間を取って慎重に検討したい。

【賛成多数で継続審査】

高浜中学校 エアコン設置状況の視察

◇12月14日(水)

この度、高浜中学校普通教室に空調設備が設置されたので現地状況を確認した。

最近の夏場は、地球温暖化により温度が上がり、学校内の教室では風が通りにくく、授業に集中できないので、早急に空調設備の導入が必要との要望が多く出され、よって設置工事が行われた。

各教室の設置状況や空調設備工事にあわせて、増設された電気設備の確認もした。各教室の空調の温度は、職員室で管理され担任の先生が状況を見ながら温度設定をする。又今後の空調設備の増設に対しても対応できるとの説明があった。

これにより、授業中の環境



が改善され、学力の向上が期待される。今後は、各学校にも空調設備を早急に設置して夏場の暑さ対策を進めるべきとの意見が出された。引き続き、高浜中学校の授業風景を参観し現状と活動内容についての説明を受け、又、教育全般に亘っての意見交換を行った。

予算決算常任委員会

委員長 西出 秀雄

◇12月12日(月)

審議事項

付託案件の審査

●議案第67号  
平成23年度一般会計補正予算(第5号)

【補正予算の概要】

平成23年度一般会計予算に歳入歳出それぞれ5,774万3千円を追加する。

◆【審議(質疑)の概要】  
◆農林水産業費

鳥獣被害対策事業費に係る公用車購入費、捕獲有害鳥獣の処理方法、処理施設への運搬方法について、又、捕獲鳥獣は産業廃棄物なのか一般廃棄物なのか、処理施設の管理運営はどうか。

嶺南地域有害鳥獣処理加工施設が平成24年4月1日に運用開始することに伴うものであり、捕獲現場において止刺し冷凍車により一般廃棄物として、若狭町の当該施設へ運搬する。当該施設の管理運

営は若狭町が行い、焼却に要する費用は頭数、重量により利用する市町の負担となる。

「鳥獣被害対策事業」公用車購入費

内 訳	金額(千円)
軽トラック4WD(冷凍車)1台	2,397
軽トラック4WD(リフト付車)1台	1,491
1.15tトラック4WD(クレーン、リフト付)1台	4,513
保険料・重量税	150
合 計	8,551

※(内…5,500千円 福井県補助金)

◆土木費

LED浜灯設置工事の事業概要、今後の計画はどうなっているのか。関連して、高浜町内全体の外灯のLED化の計画はどうか。

コンパクトシティ構想の一環として、県の「低炭素の街づくり推進事業」補助金を活用し、事代海岸にLED浜灯30灯を設置するものであり総事業費は1,941万6千円(内、県補助金1,000万円)である。

今後については、事代海岸から鳥居浜海岸方面、東方へと整備していく。高浜町全体の外灯のLED化については別途補助金制度を活用し地元の皆さんの要望により、取組んでいく。

◆教育費

学校施設整備事業の区別について。高浜小・青郷小・高浜中のプール改修工事設計業務委託料、高浜小・和田小の普通教室空調設備工事設計業務委託料である。

◆公共下水道事業特別会計繰出金の事業内容について。

湯谷地係に予定している雨水調整池整備事業に係るものである。

◆公営住宅管理事業の区別について。

水明団地の給排水管、雨漏等の修理である。

◆教育費

◆学校施設整備事業の区別について。

高浜小・青郷小・高浜中のプール改修工事設計業務委託料、高浜小・和田小の普通教室空調設備工事設計業務委託料である。

◆公共下水道事業特別会計繰出金の事業内容について。

湯谷地係に予定している雨水調整池整備事業に係るものである。

12月補正予算の結果

(単位:千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般	57,743	8,715,207
国民健康保険特別	22,345	1,166,729
国民健康保険診療所特別	4,531	125,561
介護保険特別	16,718	795,934
公共下水道事業特別	12,317	642,502
集落排水事業特別	354	551,541

【賛成多数で可決】

城山公園法面復旧工事に係るものであり、現在施工中の復旧工事について、詳細設計協議の結果、復旧工法、工事費用が確定したことによる追加費用である。  
この工事に関連し、城山城址の石垣崩落についてはどうなっているのか。  
今回の工事費には含まれていないが、現場は把握している。

その他、町道南山手線の整備工事費、職員給与改定に伴う人件費等、歳入については、核燃料税について審議を行った。

アンケートの結果

参加者にアンケートを実施しました。回答者は37人(男性34人、女性2人、未回答1人)で、平均年齢は62歳です。

【各設問の回答状況】

設問 出前報告会の感想

・大変よかった……………1人 ・よかった……………19人  
・普通……………4人 ・工夫が必要……………12人  
・意味がない……………0人

設問 報告会を続けた方がよいか

・続けたほうがよい……………32人 ・しなくてよい……………2人  
・どちらでもよい……………3人

設問 開催地の地域分け(四地区)

・今の地域分けがよい……………24人 ・細かい地域分けがよい……………5人  
・高浜町全体でよい……………2人 ・どちらでもよい……………5人

設問 開催頻度(年2回)

・今の回数が多い……………21人 ・もっと多くすべき……………12人  
・もっと少なくすべき……………0人 ・どちらでもよい……………3人

他に自由記述の意見として、「広報不足。参加者を増やす努力を」「議員の話が長い」といったご指摘や、「良い取組」「議員がよく勉強している」といった声、「議会の政策提言を示してはどうか」「地元議員も出席すべき」といった改善意見など多くの意見を頂戴しました。

次回報告会に向けて

会場やアンケートのご意見、議会の反省会等を踏まえ次回報告会の見直しを行います。

具体的には、事前広報の方法や開催日程の再検討、報告内容の充実(タイムリーな課題設定、配布資料の充実)、報告会の進め方などを見直します。

町民の皆さまからもご提案があればぜひお聞かせ下さい。次回出前報告会には多くの町民の参加をお待ちしております。



青郷公民館

はじめに

高浜町議会では議会出前報告会を開催しました。この出前報告会を振り返り、次回報告会の改善点をレポートします。

出前報告会の概要

\*前号の議会だよりもご参照下さい。

◆高浜町文化会館(10/15開催)

出席議員 栗野・渡辺・小幡・井ノ元  
住民参加者 15名

◆内浦公民館(10/15開催)

出席議員 的場・西出・上尾・大塚  
住民参加者 4名

◆和田公民館(10/23開催)

出席議員 栗野・山本・横田・清常  
住民参加者 9名

◆青郷公民館(10/23開催)

出席議員 的場・勝本・磯部・廣瀬  
住民参加者 13名

議員からの報告内容

9月定例会での一般質問と議案審議の概要、平成22年度決算審査概要、それに「原子力発電の堅持を求める意見書」の議決について議員が報告し、出席者からの質疑と意見交換を行いました。

意見交換の内容

出前報告会の大きな目的は議員と住民との意見交換です。今回、原子力の意見書がマスコミで大きく報道されたこともあり、各会場とも原子力政策や再稼働問題、避難道整備など多くの意見が出ました。また、鳥獣害対策、町有地の利用計画、施設整備に対する民意の反映、議会運営に関することなど住民の関心の高い課題で活発な意見交換ができました。



和田公民館

地域医療対策特別委員会

委員長 廣瀬とし子

◇12月15日(木)

高浜町寄附講座の現状を聞く。

和田診療所井階友貴先生

高浜町の医療に関する寄附講座の開設は平成21年4月から平成24年3月まで【3年間】年/2、000万の予算で支援されている。福井大学医学部の地域プライマリケア講座より診療補助や医学教育を行なっている。和田診療所を中心に実習や研修を行い、それに参加した医学生や研究医の数は21年度71人・22年度は84人と増加の傾向にある。今までの地域に研修医の受け入れは皆無であったがこの講座を設けたため、高浜病院でも22年度は10人にも及ぶ事が見られ、地域の医療と介護の両面に於いて喜ばしい現状である。この寄附講座は継続し地域医療に是非必要である。

鳥獣害防止対策特別委員会

委員長 山本 富夫

◇12月15日(木)

本委員会は、平成23年度高浜町一般会計補正予算に計上された鳥獣害対策費1、118万6千円についての内容の精査を行った。特に、嶺南連携推進協議会連携事業である、嶺南地域有害鳥獣処理加工施設(若狭町海士坂)が平成24年4月に運用開始となることから捕獲鳥獣の当該施設への運搬等に必要な車両等の予算が計上される内容について問題がないか委員会で審議したが問題のないことを確認した。その後、鎌倉区地区係に設置されている獣害獣の仕掛け罠を見学し当委員会を終了した。



若狭消防組合議会報告

委員 井ノ元 康夫

◇10月11日(金)

若狭消防組合消防本部3階認定第1号

平成22年度若狭消防組合一般会計歳入歳出決算認定について

- ・歳入済額 12億6、902万4、953円
- ・歳出総額 12億5、002万3、191円
- ・歳入歳出差引額 1、900万1、762円を23年度へ繰越すものである。

【全員賛成で認定】

◇11月26日(土)

若狭消防組合消防本部3階議案第1号

平成23年度若狭消防組合一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2、470万円を追加して歳入歳出の総額を15億3、439万8千円とする。

議案第2号

若狭消防組合一般職の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告による行政職給与表の改定するものである。

【賛成多数で可決】

傍聴にお越しください

傍聴の手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入していただくだけです。次回定例会は3月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局

☎0770(72)7710

討論

陳情第4号

「原発の永久停止」決議についての要請

賛成討論

渡邊 孝議員

福島原発の事故は、空間的にも時間的にも、また、地域の崩壊という点からも重大な被害をもたらした。若狭地方、日本全体が再びこのような事故に見舞われないように原発の全廃を進めるべき。

反対討論

山本富夫議員

日本は、原子力をゼロにすれば化石燃料に頼らざるを得ないというのが実情である。化石燃料に逆行すれば地球温暖化という問題もある。

再生可能エネルギーは、現時点で原子力に替わるだけのコスト、技術、供給力はない。

反対討論

栗野明雄議員

エネルギーは多様性と安定供給が大切。原子力ではできるだけ先進国が担いその他のエネルギー源は発展途上国に譲ることが人道的見地である。福島県議選での双葉選挙区の結果を見ても、全ての原発の廃炉を望んでいるわけではないと言える。



討論

議案第67号

平成23年度高浜町一般会計補正予算(第5号)

反対討論

渡邊 孝議員

有害獣処理施設関連予算の支出など前進面もあるが、11月21日の臨時議会において、高浜町一般職給与の減額のための改正条例案が可決され、それに基づき今回の補正予算に減額が提案された。

民間労働者の給与が下がったことを理由に公務員の給与を下げれば、翌年、民間労働者の給与が下げられるという悪循環につながる。一般職員の給与の安定は、職員の家計を守り、町内需要に影響するとともに日本経済回復につながるという大義から反対する。

賛成討論

山本富夫議員

東日本大震災という国難を、国民が一丸となって乗り越えなければ

賛成討論

小幡憲仁議員

町内納税者の経済状況を考えると、一般職中高年齢層を対象とした0.23%の引き下げは妥当な措置である。

24年4月に若狭町に建設している有害鳥獣処理加工施設が運用開始となる。止め刺し後の鳥獣の運搬車両購入費用が計上され、これまで大変な労力を費やしてきた鳥獣の処理が軽減される。

老朽著しい、学校プールの改修設計予算や、夏場猛暑となる小学校普通教室へのエアコン設置設計予算など、学習環境向上につながる大切な補正予算である。

最新鋭、県内でただ1台のはしご車

# 「845」はしご車

平成23年11月21日から  
運用開始



若狭消防組合・高浜消防団の出初式が1月6日高浜町役場前で行われた。消防組合副管理者である野瀬豊町長をはじめ、消防職員18名、消防団員100名、消防車両11台が参加して行われた。

地域防災を担う消防団員の方は白い息をはきながら、防水訓練やパレードに臨み、安心・安全な町づくりへ気持ちを引き締められている事を強く感じた。

消防車両の中で目を引いたのは、平成23年11月21日から運用開始になっている、県内でただ1台の最新鋭のはしご車である。

このはしご車の特徴を紹介すると価格は、1億7、839万5千円、全長10・65m、全幅2・49m、全高3・6m、総重量19、900kg、定員6名、最大地上高30m、オートマチックで後輪セルフステア（四輪操舵）で狭い場所への進入ができ、はしご先端が約2・5m、80度屈折するため架線

障害に対応しやすく、ビルのフェンスや手すりなどに囲まれた屋上等でのスムーズな救助活動が可能である。

先端バスケットの許容荷重は、従来の1・5倍になり最大許可荷重は270kgに増えた。またバスケット全部に担架を取り付けられる。

従来のはしご車は、バスケットを取り外さないと、上下移動するリフターが使用できなかったが、隊員が搭乗して救助を行いリフターで上昇、下降の操作可能となった。

制振制御装置が揺れを感知し、揺れを制御することではしごの動きを安定させ、より迅速で安全な活動が可能になった。

リモートコントロール油圧放水銃がバスケットに装備され、操作員が搭乗することなく安全に高所から毎分2、000ℓの大量放水が可能である。



はしごサイドには多数のLED照明器具が装備されていて、リモコン操作で夜間でも安全に作業できる。消火活動は危険を伴う作業である為、今後も安全に消火活動に努めて頂きたいと願います。

このはしご車のナンバー登録は「845」であった。

井ノ元 康夫

## 編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます

皆様におかれましては、新しい年をつつがなくお迎えのことと幸いです。

昨年は東日本大震災をはじめ地球規模で大きな災害があり、自然に対し畏敬の念を感じずにはいられません。

また、人と人との絆を紡いでいくことの大切さに気づく年でもありました。すべての被災された方々に、想いを馳せながら一日も早い復興を願ってやみません。

今年こそ穏やかな一年でありますように。そして昇り龍の勢いの一年でありますように。

文責 大塚ひとみ

## 広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 磯部 武史 |
| 副委員長 | 大塚ひとみ |
| 委員   | 上尾 徳郎 |
|      | 井ノ元康夫 |
|      | 廣瀬とし子 |
|      | 清常 光洋 |